

学校別傾向と対策～青山学院中等部～

算数

出題傾向

13～14 題で構成された試験となります。内容としては、基礎的な問題から応用問題まで幅の広い出題になります。そして、その応用問題が後半とは限りません。しっかりとした問題のレベルの把握が必要となります。また、1題1題が独立しているため、時間とのたたかいになります。処理能力の高い受験生が算数で差をつけることのできる試験となっています。

合格への対策

他の受験生に差をつけるためには、処理能力を磨く必要があります。1つ1つの問題を短い時間で解く必要があるため、読みながら解くことが必要になります。問題をただじっと読むのではなく、常に図や表に表しながら問題を解読していくことを意識するとよいでしょう。そこで、答えが導けるイメージが立たなければ、素早く解くことをあきらめる潔さも必要となるでしょう。出題傾向としては、青学特有の折り紙問題や角度問題もあります。しかし、ここを重点的に対策するというよりも弱点単元をなくすということが最重要ポイントになります。13～14 単元分の出題がされますので、1単元を確実にできる能力以上に、どの単元も満遍なくとれる能力が問われています。

国語

出題傾向

大問が5 題出題され、漢字の書き取りと読解問題が4 題という構成です。読解問題は論説、随筆、物語、詩とオールジャンル出題されます。選択肢問題が中心で設問数は若干多めです。難易度自体は標準ですが、素早く処理をしていかなければなりません。

合格への対策

難易度は標準ですが合格者平均が高いため、早くかつ正確に処理することが求められます。文章中から素早く解答の要点をつかみ処理していかなければなりません。読解の段階でおおよそ解答に絡みそうな要点を捕まえる力とそれをもとに誤解なく選択肢と照合すること、さらにそれを素早く行うという訓練が必須です。解答に絡みそうな要点のつかまえかたは大学受験の参考書に詳しく、それを参考にするのも一つの手です。

理数特化型進学塾 **進塾**

東京都北区赤羽西 1-39-1 伊藤ビル 3 階

TEL 03-5924-7747



学校別傾向と対策～青山学院中等部～

理科

出題傾向

25分間50点満点の試験になります。出題構成は大問1では小問集合が出題され、大問2～5では物理、化学、生物、地学のそれぞれの分野から1題ずつ出題されます。出題の幅は広いですが、内容としては知識を問う問題が多い傾向にありますので大きな差になりやすいことが推測されます。また、少しクセのある知識問題なども出題されることがありますが、無理に対策する必要はないでしょう。

合格への対策

はやり他の受験生と理科で差をつけるためには、計算問題でしっかり点数を稼ぐことが求められます。物理分野では電熱線や電気回路、化学分野では気体の発生や水溶液などの出題頻度が高く対策する必要があります。また、全体的に出題傾向に偏りが見られるため過去問を昔のものからやりつくすということがとても大きな対策となるでしょう。

社会

出題傾向

大問は10題程度と多いですが、設問数は25問程度ですので時間的に厳しいということはありません。地理、歴史、公民、時事問題と幅広く出題されますが、比較的歴史からの出題割合が高いです。テキストには載っているもののそこまで気を配って学習はしないような事項も数問出題されることがあります。

合格への対策

基本的には基礎的な用語を問う選択問題、基礎的な正誤問題が中心ですから、これら素早く正確に処理することが絶対条件です。資料を読み取る問題もありますので、それを正確に処理する時間を確保する必要もあります。細かい知識問題も出題されますが、そこまでは手は回らないです。社会への特別な興味がないのなら、合格点さえ取れば良いという割り切りも必要です。

理数特化型進学塾 **進塾**

東京都北区赤羽西1-39-1 伊藤ビル3階

TEL 03-5924-7747

